

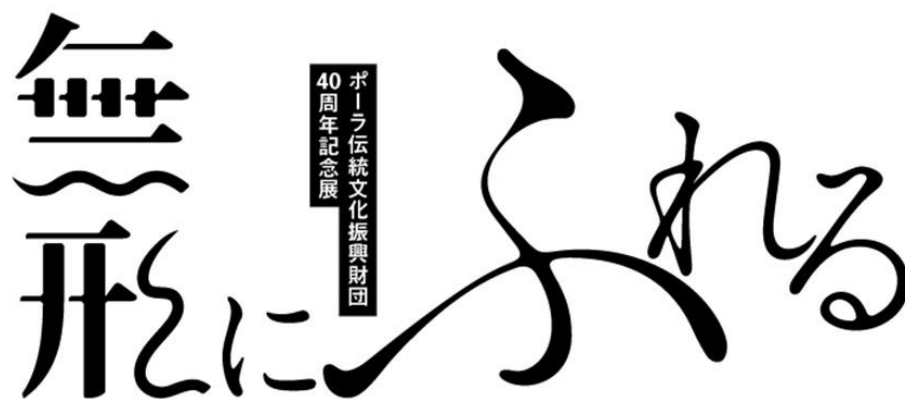
NEWS RELEASE

2019.11.20

ポーラ伝統文化振興財団40周年記念展

「無形にふれる」

2020年1月18日(土) から開催



ポーラ ミュージアム アネックス(東京・中央区銀座)では、公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団の設立40周年を記念した展覧会「無形にふれる」を2020年1月18日(土) から2月16日(日)まで開催します。

ポーラ伝統文化振興財団は40年にわたり、日本の優れた「伝統工芸」「伝統芸能」「民俗芸能」3分野の無形の伝統文化を次世代につなぐ活動を行ってきました。40年の活動の集大成となる本展では、伝統文化の第一線で輝く人々の作品や舞台を生み出すわず、美意識や想いといった、無形の伝統文化の本質を感じることができます。

本展で取り上げるのは、過去のポーラ伝統文化振興財団の顕彰事業や保存記録作成事業の対象者のうち、「伝統工芸」「伝統芸能」「民俗芸能」各分野から2件ずつの個人・団体。各人の作品や関連資料の展示に加え、その作品・演技をデザイン的なアプローチで解体・再構築し、思想家ルドルフ・シュタイナーの「12感覚」を手掛かりに、「見る」だけでなく、複数の感覚で「体感」できる展示となります。

古からの型を学びながらも、時として革新的であったからこそ、時代を超えて受け継がれてきた伝統文化。目に見えない魅力に触れ、聞こえない音に耳をすますことで、これまでとは違う世界を感じることができます。

|| 展覧会概要 ||

展覧会名：ポーラ伝統文化振興財団40周年記念展「無形にふれる」

会期：2020年1月18日(土) から2月16日(日) [30日間] ※会期中無休

開館時間：11:00 - 20:00 (入場は19:30まで)

入場料：無料

会場：ポーラ ミュージアム アネックス (〒104-0061 中央区銀座1-7-7 ポーラ銀座ビル3階)

アクセス：東京メトロ 銀座一丁目駅 7番出口すぐ / 東京メトロ 銀座駅 A9番出口から徒歩6分

JR 有楽町駅 京橋口から徒歩5分

主催：公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団

企画・会場構成：公益財団法人ポーラ伝統文化振興財団、graf(有限会社デコラティブモードナンバーズリー)、株式会社乃村工藝社

URL：<https://www.po-holdings.co.jp/m-annex/>

【リリースに関するお問い合わせ】株式会社ポーラ・オルビスホールディングス コーポレートコミュニケーション室
info-annex@po-holdings.co.jp TEL 03-3563-5540 / FAX 03-3563-5543

【読者からのお問い合わせ先】ポーラ ミュージアム アネックス TEL 03-5777-8600 (ハローダイヤル)

|| 公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団 ||

ポーラ伝統文化振興財団は、「本当の美しさは、内面の美や心の豊かさを伴ってこそ初めて実現する」という創業者の想いの下、豊かな社会と文化の向上に寄与すべく、1979年にポーラ・オルビスグループの支援により設立されました。2011年には公益財団法人に移行し、現在まで日本の優れた伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能など無形の文化財を対象に、保存・伝承・振興の活動を行っております。

公益財団法人 ポーラ伝統文化振興財団 URL : <http://www.polaculture.or.jp/>

|| 主な出展者(敬称略) ||



観世 清和 (かんぜ きよかず)

【二十六世観世宗家／東京都】

1959年東京生まれ。父は25世宗家 観世左近元正。1990年家元継承。室町時代の観阿弥、世阿弥の子孫二十六世宗家として、現代の能楽界を牽引する。1995年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。1999年フランス文化芸術勲章シュバリエ受章。2012年度芸術選奨文部科学大臣賞受賞。2013年伝統文化ポーラ賞大賞受賞。2015年「紫綬褒章」受章。2019年度JXTG音楽賞受賞。重要無形文化財総合認定保持者。



中川 衛 (なかがわ まもる)

【金工作家／石川県】

1947年石川県生まれ。金沢美術工芸大学卒業。1974年より高橋介州に師事。1979年日本伝統工芸展初入選。1988年日本伝統工芸展「朝日新聞社賞」受賞。1996年金沢美術工芸大学教授。2004年伝統文化ポーラ賞優秀賞受賞、重要無形文化財「彫金」保持者認定。2006年東京三越本店初個展。2008年メトロポリタン美術館に作品収蔵。2009年「紫綬褒章」受章。2010年大英博物館に作品収蔵。記録映画「加賀象嵌 中川衛 美の世界—新たな伝統を創る—」(ポーラ伝統文化振興財団企画、2011年)。



井上 安寿子 (いのうえ やすこ)

【京舞井上流／京都】

1988年観世流能楽師九世観世鏡之丞と五世井上八千代の長女として生まれる。2歳で四世と五世に師事。17歳で名取。2007年京都造形芸術大学入学、舞台芸術を学ぶ。京都市芸術新人賞、伝統文化ポーラ賞奨励賞、芸術選奨文部科学大臣新人賞など多数。



見附 正康 (みつけ まさやす)

【九谷赤絵作家／石川県】

1975年石川県生まれ。1997年石川県九谷焼技術研究所卒業。2000年伝統九谷焼工芸展技術賞(2005年、2009年)、2010年全国伝統工芸品公募展経済産業省製造産業局長賞受賞。2011年「REVALUE NIPPON PROJECT—中田英寿 現代陶芸と出会う—」(茨城県陶芸美術館)、2012年「工芸未来派」(金沢21世紀美術館)、2014年パラミタ陶芸大賞展大賞(パラミタミュージアム)、2015年度石川デザイン賞受賞、2019年伝統文化ポーラ賞奨励賞受賞。



岩崎鬼剣舞保存会 【岩手県】

(いわさきおにげんばいほぞんかい)

北上和賀地方に伝わる鬼剣舞の源流。大宝年間(701~704年)、修験の祖である役行者(小角)が念仏を唱えながら踊ったことに始まるとされる。いわゆる「念仏剣舞」の一種であるが、威嚇的な鬼のような面をつけ勇壮に踊るところから、「鬼剣舞」と呼ばれる。国指定重要無形民俗文化財。記録映画「みちのくの鬼たち—鬼剣舞の里—」(ポーラ伝統文化振興財団企画、1996年)。



有福神楽保持者会 【島根県】

(ありふくかぐらほじしゃかい)

島根県浜田市の地に伝わるもので、明和年間(1764年~)頃から伝承されていると言われている。元々は神職によって奉納されていた神事がやがて氏子たちも共に奉するようになり、現在の荘厳かつ劇性の高い神楽となった。島根県指定無形民俗文化財。記録映画「神々のふるさと・出雲神楽」(ポーラ伝統文化振興財団企画、2002年)。

|| 関連イベント ||

11月20日(水)より展覧会特別サイトを公開しました。今後、同サイトにて、ギャラリートークや講演会等の関連イベント情報のページを追加公開する予定です。

URL : <https://www.mukeyi.art>